令和２年度　第３回　高石市行政計画審議会　議事録

【開催日時】　令和２年１１月２５日（水）　午後２時３０分から開催

【開催場所】　高石市役所　別館３階　会議室３１１、３１２

【出席委員】　委員１６名中１４名の委員が出席され開催いたしました。

日野　泰雄　　畠中　宗一　　槇村　久子
永山　　誠　　東野　隆史　　久保田和典
森　　博英　　清水　明治　　東口　正一
西村　陽子　　中平　正子　　藤田　政明
田中三和子　　羽間　靖志（代理出席　総務課長　大庭　暢）
（以上委員１４名）

【欠席委員】　山内　和彦　　石原　誠之

【傍 聴 者】　なし

【日　　程】　（１）諮問第１号　第５次高石市総合計画基本構想（案）について

【確認事項】　本日の議事録署名人には、清水委員と田中委員が指名された。
石川副市長より、日野会長へ第５次高石市総合計画基本構想（案）について諮問書が提出された。

【質疑応答】　諮問第１号　第５次高石市総合計画基本構想（案）について

（会　長）第４次の評価について、課題は２つある。１つは、内部評価では良いという評価になっている一方、市民からは不十分と言われており、ギャップがある。もう一つは、市民にとって身近な問題に対しては関心が高いが、当たり前と思われているような平和や人権については重要性の認識が低い。また、市民にとっては産業界との関係性が遠いため、市民とのつながりを考え、もう少し関係性を近づけるようなことが必要ではないかと思う。つまり、市民に本市の色々な分野にもっと関心を持っていただき、一緒によくしていこうというところが基本構想のどこかに見える必要があるのではないか。
もう一つ加えると、市民が重要だと思っており、それがうまくいっている子育て分

野など、本市にとっての目玉であり、広域にも貢献できるような分野を総合計画の中でうたうことで、人間都市や将来の都市像のようなものとうまくリンクできるような形になっていることが、高石市としてアピールする一つの手段だと思う。前回に見せていただいた目標や基本理念と、その辺が合っているかどうか、皆さんにも改めて確認していただきたい。

整理すると、なかなか難しいけれども、市民の思いと市の進めようとしていることが、もっと密接につながる必要があり、そのためにはどんなことをすればいいのかということと、市民が重要であると考え満足している施策を市の目玉施策として、目標や都市像に反映してもらったらいいということだが、事務局としてはどうか。

（事務局）まず、少子高齢化や人口減少というところを含めて、行政と市民、医療等を一体としてまちづくりをしていかなければならないため、人間都市・高石を都市目標に設定している。

基本理念については、「みんなが輝く　育みと健幸の住みよいまち」となっており、市民を含め、全員が元気で活躍できるようなまちをめざしている。また育みというところでは、人口減少の中で教育や、担い手不足等が課題になってくるため、地域活動も含めた担い手の育みや、活力ある元気な高齢者を健康寿命の維持向上というところも含め、健幸という文言を入れている。

また、市民アンケートの中でも、交通の利便性がいいところが高石市のストロングポイントであるというご意見もいただいているため、住みよいまちという文言で高石市のアピールしている。会長の趣旨とはずれているかもしれないが、市民アンケートや、団体の意見を含めて、都市目標と基本理念を定めている。詳細な施策については、今後検討させていただきたい。

（会　長）説明はよく理解した。ただし、質問と若干ずれており、第５次総合計画の策定に向けて、私が言ったようなことに触れていただければ、第４次のレビューを反映した計画になると思う。市民や団体の意見を踏まえた上で、今回はこう改善するということが見えるように、前文にでも入れていただけないか、ご検討いただきたい。

それでは、案件第１、諮問第１号　第５次高石市総合計画基本構想（案）について、前回のたたき台と今回の諮問の案で変更された点等を中心に説明をお願いしたい。

（事務局説明）

（会　長）畠中先生、どこか気になった点等があれば、あるいは次回の答申案作成に向けてのご意見等、お願いしたい。

（委　員）私自身の意見もきちんと反映されていることを確認した。ただ、１点だけ、選択と集中という概念が行財政改革というところに比重が置かれている。先ほどの説明で、第４次の最終的な総評の中で、人口減少の抑制、交流人口、関係人口の増加プラス若年層の定住促進という枠があった。そうすると、若年層の定住促進ということを、

この書きぶりでできるのか、つまり選択と集中というのは財政論であると同時に高石市の魅力を総体的に全部よくするということだと思う。選択と集中というのは、財政論だけでなく、どこに政策の比重を置くかといった議論も考え方によって取れるわけであって、このままで果たして若年層が定着して人口が増える高石市の社会をつくれるのか疑問が残る。選択と集中という概念を政策レベルで、各分野を平坦に並べるのではなく、どこかに比重を置くという選択と集中だと思う。

（事務局）最終的には若年層の定住促進を図っていくというところで、基本理念のほうにもうたわせていただいているので、施策の選択と集中の部分については、いただいたご意見を念頭に置いて施策を展開していきたいと考えている。

（会　長）視点ということなので、限られた財源とか人材の中でどうしていくか、という選択肢が必要。本市の目標達成をするために政策としてどういうものを優先的にやっていくのかということも選択と集中になるため、その部分が抜けているという指摘だったので、改めてご検討いただきたい。

私からの意見は二つある。一つは、冒頭に言った内容を計画の視点か目的のところ、あるいは前文にでも入れておいたほうがいいと思う。あと１点、これは菅首相も力説しているが、１２ページのところに「自助・共助・公助で協働」という記述に関して、個人的には、最初は一番小さな単位の互助ではないかと思っている。また、自助はあえて必要ないのではないか。国の政策、方針に従うということであれば結構だが、個人的な意見として申し上げた。

（委　員）今、会長が言われたが、まず言葉のことで質問させていただく。「ワンチーム」という言葉があちこちに出てきているが、この言葉をどう捉えているのか。

（事務局）このワンチームという言葉は、それぞれの課題の解決に向けて市民、行政、また関係する方が全て同じチームで取り組むという意味で表現させていただいている。

（委　員）ラグビーではワンチームという言葉がよく使われているが、人によってワンチームのレベルが違うと思う。私の受け取り方でいうと、みんなが一体になって協力してやっていくというような意味なのかなと思うが、ワンチームというのはラグビーのイメージが強いので、総合計画の中に記載されるのはどうかという気がする。

（会　長）去年の流行語だったと思う。多分、一丸という意味を、それに置き換えたと思う。

（委　員）もう一つ、この計画の期間中に万博がある。企業との連携といった中で、企業誘致や、設備投資、工場立地法に基づく緑地の規制緩和等が基本構想に書かれている。この万博の中で、様々な企業に対する知見や技術革新に、高石市も参加できるかどうかは分からないが、その辺りを大阪府の方に聞きたかった。この１０年の中で一番大きな万博を背景的なところにいれるという手もあると思う。ほかの市町村で総合計画の改訂時期に当たっている市町村では、どう捉えられているのか気になり、質問した。

（会　長）１０年間の中のワンシーンなので、１０年全体の計画からするとちょっと異質かもしれないが、その前後を含めた大きな経済活動もあるので、そういうことについて入れるべきではないかということだと思う。コロナについても既に記述があり、それによる経済の問題について触れているということもあるので、そのことを踏まえて事務局としてはどうか。

（事務局）万博のテーマが健康ということもあり、大阪に注目が集まっていることを感じている。今後の施策を策定するに当たり、例えば企業誘致であるとか、大阪に注目が集まるタイミングで流れを逃さないような取組が必要になってくると思う。

大阪府でも今、スマートシティの取組が盛んにされており、そこのスマートシティパートナーフォーラムというプラットフォームに本市も参加しているので、今後、いろんな市の課題の解決策として、デジタル技術の活用などの視点が今後１０年間の中に入っている。万博に向けて技術革新というのは、かなりのスピードで進んでいるので、そういった視点を基本構想では、デジタル技術の活用という形で政策に落とし込んでいけたらと考えている。

（委　員）委員のご意見はわかるが、万博はずっと続くものではなくスポット的なものなので、それをこの１０年計画に入れるのかということである。スポット的なものを入れるとすると、ほかのものも色々出てくることになるので、万博については入れる必要はないと思う。

（会　長）先ほど申し上げたが、１０年間の中のワンシーンだが、そういう契機があるということだと思う。ただ、経済とか何とかということにあまり踏み込むと、例えばオリンピックをベースにしたような長期計画を立てているところもあるが、実際にはコロナ禍でかなりひっ迫している。中長期計画の中の節目、節目のところのインパクトとして、そういうものを捉えるというのは正しいと思うし、ちょうどこの期間に入るので、それを何かしらのインパクトとして、より充実を図るというような記載が可能かどうか、大阪府の意見も聞いた上で調整していただきたい。そういうことでよろしいか。

（委　員）今も言ったように、万博だけでなくオリンピックも入ってくる。これから先にも大きなイベントが入ったら、それも入ってくることになるから、そういったものは計画の中に入れないほうがよいということをお伝えしたかった。

（会　長）イベントそのものは、その瞬間のものだが、大規模イベントを契機に、様々な整備や、技術革新が進むということで、意味があると思う。万博期間は、人がたくさん来て楽しんで終わりだが、万博の際に色々な社会実験を行うことで、それをそれ以降の社会経済に生かす、そのためのイベントである。単なるイベントではなく、その後にどれだけ社会に貢献できるかということが問われている。その点で、高石市としても、５年あるいはその先の１０年に向けてそれを取り込んだような施策が展

開できるかどうか、それについては検討していただいてもいいのではないかと思う。そういう意味でご理解いただいて、大阪府に意見をお願いできたらと思う。

（委　員）視点①の「多様な主体の参画」の中で、地域社会という表現があったが、これが市全体のことを意味していると理解したが、そうするとその後のサービス提供や課題解決の担い手というのは、何を指すのか分からない。また、「健幸づくり等の推進による活力ある高齢者や女性の参画」という文章もあり、まちづくりへの参画が重要なのか、健幸づくりへの参画が重要なのかが分かりにくい。それと関連し、第３節「社会経済情勢からみたまちづくりの展望」には、少子高齢化による影響と、それに伴う人口減少社会という課題への取り組みが記載されているが、女性の社会参加という表現でいいのか。そもそも社会参加の言葉自体がもう古く、既に共働きが多い。また、子育て世代も増やし、女性の社会参加を推進するとなると、「妊娠から子育てまでの切れ目ない支援等」とは、人口減少社会への対応ではなく、女性の社会参加のための支援ではないか。非常に重要な部分なので、もうちょっと分かりやすい形で、市が伝えたいことをうまく言葉に整理したほうがよいと思う。

（会　長）恐らく多様な主体の参画の地域社会というのは、市全体じゃなくて、コミュニティをイメージされていると思う。そのため、先ほど指摘のあったワンチームもここに入っていると思っているが、委員は単位が高石市ということであれば話が合わないとの指摘なので、調整をお願いしたい。

１０ページのところはご指摘のように、たくさん盛り込んだので施策が分かりにくくなっていると思う。恐らく、背景にあることの危機感に対して何をするかということで、ＡＩやＩｏＴ化が何のためかということが抜けている。例えば、業務量を減らすためとかということであれば、ＡＩ、ＩｏＴ化の推進による何々ということがここに入るのではないか。委員から指摘いただいた高齢者の健康予防と就労促進というのは労働力不足という話になり、後のほうも女性の就労を支えるための妊娠から子育てまでの切れ目ない支援ということであれば、これも恐らく、就労とか労働力ということになる。その辺りのことが分かるような形で入れていただく必要があると思う。

（委　員）９ページの、「本市を訪れる人（交流人口）や、関わりを持つ人（関係人口）の増加を図り」というところの具体的な計画はどこに入っているのか。

（事務局）目標４の「人を惹きつける魅力と活力があふれる」のところで、本文の「若い世代を中心とした市内在住者の定住促進や、市外在住者の移住促進により、地域の活力を持続・向上させていくことが重要です。そのためにも、一人でも多くの人に本市を知ってもらい、興味、関心、誇りや愛着を持ってもらえるよう、本市の持つ多彩な魅力や地域資源、優位性などの都市イメージを戦略的かつ効果的に情報発信するシティプロモーションを推進するとともに、平坦でコンパクトであるという特性や

様々な地域資源を活かした「リノベーションまちづくり」を行い、本市が有するポテンシャルを最大限に引き出すとともに、連続立体交差事業完成後、駅周辺部の再整備を進め、まちの魅力の向上と地域の活性化に取り組んでいきます」というところで表現している。

（委　員）了解した。

（会　長）ちょっと文章が長いので、わかりにくいのではないか。まず、「推進する」のところで一回切ったほうが、すっきりすると思う。これを含め、次の審議会までの間にもう一回読み直していただき、改訂する場合、どの時点での改訂か見分けがつくように整理してほしい。一度、事務局のほうで、どこかの段階で整理して、それをまたフィードバックできるような形にしていただけるとありがたい。この後、説明があると思うが、パブコメの意見も含めてまた修正が必要になるので、ぜひお願いしたい。

（委　員）事前にいろいろ意見した内容を取り入れていただいている。ただ、１点。この１０年間を振り返ってもどこの市でも同じで、担い手に非常に困っている。２ページの視点①の「多様な主体が地域社会を支える担い手として役割を果たしていただくための環境整備を図る」というのは、第４次総合計画と同じような表現である。人材という部分がいろんな地域でも枯渇している状況になっているので、第５次では行政も力を入れてほしい。３ページのこの文章と、２０ページも同じような文章で終わっているので、もっと強調した文章にしていただきたい。担い手という問題が大きくクローズアップされると思うが、その辺についての考え方や、１０年後を踏まえてどうするのかということをお聞かせいただきたい。

（会　長）書いてはいるが、もう少し強調する必要があるということだと思う。私も総合戦略で、人材バンクの早期設置をお願いしてきたが、なかなか実現していないという実情がある。

（事務局）今、ご指摘の３ページのほうは確かに第４次からさほど踏み込んだところまで書けていないが、２０ページのほうには、これまでは協働して取り組んでいきますというところを、推進しますということで、さらにやっていくんだという意識を持って若干表現を変えさせていただいている。実際、ここの基本構想をどこまで踏み込んだ書きぶりにできるかということについては、今後ご相談させていただきたいと思うが、これを実現するための取組、いわゆる基本計画のところや、さらにその下の実施計画での取組をもっと強化することが大事だというふうに判断している。

（会　長）基本計画とか、さらにその後の具体の施策に反映していただけるような書きぶりであればいいので、調整をお願いする。先ほども申し上げているが、この後、もう一度じっくりお読みいただいて、事務局にご意見等お寄せいただきたい。

時間も押してきたので、その辺のところは今申し上げたような形で対応させていた

だく形でよろしいか。

（　は　い　の　声　）

（会　長）先ほども出ましたが、パブリックコメント実施と、それを踏まえた上での次の審議会等への日程について、事務局からお願いしたい。

（事務局）パブリックコメントの実施に当たっては、配付させていただいているＡ３カラーの資料と、本日審議いただいた諮問案を提示し、明日の１１月２６日から１２月２２日までの間に意見集約を行いたいと考えている。

なお、年明けの審議会の開催については、１月１３日、１月２８日、２月１６日、いずれも午後２時３０分から予定している。

次回の開催については１２月２５日の午後２時３０分開催予定なので、よろしくお願いしたい。

（会　長）今日の意見を踏まえた上での各委員からのご意見は、いつまでにいただいたらよろしいか。

（事務局）２週間後の１２月９日の水曜日までに事務局までご連絡をお願いしたい。

（会　長）了解した。

他にご質問などないようなので、大変恐縮だが、１２月９日ぐらいまでにもう一度改めて熟読の上、今日いただいたご意見に加えて気になった点等があれば、ぜひ事務局のほうにお知らせいただくようにお願いしたい。

以上で、第３回の高石市行政計画審議会を閉会したい。

【午後４時閉会】